

FRIENDS OF GREEN

フレンズ
オブグリーン

緑友会コミュニケーション誌

MAY.2003.

No.111

発行人 矢谷 猛 大阪青年印刷人クラブ
編集人 京 都 青 年 印 刷 人 月 曜 会

INDEX

- 追悼の言葉 大阪青年印刷人クラブ 松口 正
- 追悼の言葉 京都青年印刷人月曜会 森田 隆司
- 福岡セミナー報告・お礼 福岡若葉会 実行委員長 前田 慶弥
- 福岡セミナーのお礼 福岡若葉会 会長 京谷 秀則
- 福岡セミナーに参加して 京都青年印刷人月曜会 四方 裕
- 平成 14 年度第 2 回常任幹事会議事
- 平成 14 年度第 3 回グループ長・常任幹事会議事
- A Relay EssayINDEX



第 36 回 全国印刷緑友会 福岡セミナー：平成 15 年 2 月 22 日 (土)

 全国印刷緑友会

追悼の言葉

大阪青年印刷人クラブ

松口 正

まさしく、人生無情、人の命の儚さ、生者必滅のならいを痛感した出来事でありました。矢谷会長は生きることを急ぎすぎたのかもしれませんが。

ゆっくり生きる方法もあったとは思いますが。

でもゆっくり生きている矢谷さんは矢谷さんでなくなるので矢谷さんは矢谷さんを完結されたのかもしれませんが。

矢谷さんは20年、大阪青年印刷人クラブに在籍、青印クを会社という看板を外した男同士が切磋琢磨する場であると位置づけておられました。

そして、青印ク、緑友を愛し、双方の発展を心から願っておられました。

我々、後輩が何か二の足を踏むようなことがあれば、せっかくの男を磨くチャンスを何で逃がすか解らんという思いから、「俺がやる、自分でやる、お前らに責任はとらさん」と言っでは、我々に刺激と困惑を与えながら強引に引っ張って行ってくれました。

緑友の会長のお話を頂いた時も「俺はやる、お前らに迷惑はかけへん」と言って引き受けられました。

誰がや、何が迷惑掛けへんや、えら迷惑や！

いつも後輩思いの矢谷さんでありました。

結果、体を蝕んだお酒ですが、全速で生きてきた矢谷さんには、酔った時だけ自分を許せる魔法の水だったのかも知れません。

その魔法の水は矢谷さんを、よく“怖いもん無し”に変身もさせてくれました。

こんなホステスはキックキック、こいつ強いねんぞ、手拭いで浴衣が着られるか！

いつも後輩思いの矢谷さんでありました。

矢谷さんの青印ク、緑友への思いは我々が受け継ぎますので、安心して見ていてください。

時々「もうええ、俺がやる」とツッコミを入れながら・・・。

御生涯を偲び哀悼の意を表します。

永遠に生きるが如く夢を見ろ

明日死ぬかの如く生きろ ジェームス・ディーン

合掌

追悼の言葉

京都青年印刷人月曜会

森田 隆司

2月14日の午後10時前に大阪の北口さんからの電話で矢谷会長が亡くなられた事を知りました。突然の出来事で全然信じられなくて何度も何度も聞き返し、なかなか事実を受け入れる事ができませんでした。

思い返せば病気で倒れられた時、緑友会の事を思い、なかなか休むと言い出せなかったようで、私がハッキリして下さいとお願いし、大阪青年印刷人クラブのメンバーにも説得され漸く療養する決意をされました。

療養中は病気と戦い、今年頂いた年賀状には「体調はもどりました」と書いてありました。亡くなる1週間くらい前だったと思います。矢谷会長から電話を頂き、自分の将来の話がされました。社会保険労務士の資格を取るために頑張って勉強してんねんと話されていました。そして「緑友会のメンバーに会いたいなあ」とも言っておられました。

各事業の会長挨拶の時にノートパソコンを持って登壇し、画面を見ながら話すのかと思いきや『忘れてもうた』と言って訳の分からない挨拶をされてのが、今となっては懐かしく思い出されます。

話はいつも回りくどくて本音にたどり着くのに時間が掛かりました。それは相手を気遣う矢谷会長の良いところだったのでしょう。

私を次の会長に選んでおきながら突然この世を去った矢谷会長。葬儀が終わり最後のお別れの時、「迷惑かけといて勝手に何で死ぬねん、アホか！生き返ってこい。」と心の中で叫びました。

緑友会に対する思いは同じだと思いますので、あなたの平成14年度の方針を勝手にそのまま引き継ぎたいと思います。

今後も緑友会歴代会長である事には変わりありません。我々の心の中で生き続ける事でしょう。

改めてご冥福をお祈りすると共に、ここに追悼の意を表します。

合掌

第36回全国印刷緑友会福岡セミナー

報告&お礼



福岡印刷若葉会
実行委員長 前田 慶弥

2003年2月22日（土）に福岡ホテルシーホーク&リゾートにおいて第36回全国印刷緑友会福岡セミナーを開催いたしました。

実行委員長を承った私にとって、すべてが未知の作業であり、常任幹事のみなさんには「顔が引きつってるよ」と冷やかされながらの手探りの作業でした。

福田会長代理、田中幹事、戸根木幹事など皆様には大変ありがたいアドバイスをいただきながら、また胃を痛めながら準備をしていきました。

参加人数のメドが立った1月になってやっと内容の詰めが出来るようになりました。（逆に言うと、それまで煮詰まりませんでした。）

問題は山積みで、トラブルも多発しました。宿泊の手違い、ホテルとの時間のやり取り、サーバーディスカッションの内容、控え室の設定ミス等々…。

しかし最大の障害は去年の当福岡印刷若葉会の山口会長の急逝と直前に訪れた

緑友会矢谷会長の急逝でした。

前日からの泊り込みで迎えた当日、常任幹事グループ長会議に参加しながらも、実は心ここにあらず状態で「受付はうまく機能しているだろうか」「なにか問題はおきていないか」など考えていました。

しかし、ほとんどそれは取り越し苦労でスタッフはそれぞれの役割を十二分に果たしてスムーズに進行していきました。

まずはオープニングセレモニーのTAOのライブ。実は私もこの日まで生で演奏を聴いたことはありませんでした。

迫力ある演奏とパフォーマンスはまさに「響」のテーマに相応しいすばらしいものでした。

会場と進行の都合上、30分足らずの演奏でしたが、「もっと聴いていたい」と仕事を忘れて思っていました。

そして福田会長代行より矢谷会長の急

逝の報告と黙祷があり、式典へ。

そして高塚社長の基調講演となりました。抑揚のない語り口は時に眠気を誘いましたが、内容はすべてにおいて「手段」と「目的」を明確にしていかななくてはならない等、わかりやすくなるほどと思わせるものでした。

そしてサーバーディスカッション。東京の戸根木さんに無理をいっておねがいして実施いたしました。

記念撮影の後、少し時間をおいて懇親会へ。

このころにはもう心配事は殆どなくなり、かなりリラックスした気持ちになってきていました。

福岡印刷若葉会の京谷会長の歓迎の挨拶、古賀前緑友会会長のご挨拶、森田次期会長のご挨拶、乾杯と進み、歓談へ。

アトラクションの女性ペアマジック「ウィッシュ」は会場全体を異様な雰囲気にしてしまうほど盛り上がり、「福岡セミナーの印象」全て持っていかれたよ

うな感じでした。

興奮も冷めやらぬまま、次回京都総会のPRと金沢大会のPR、そして印刷の若手団体4団体が共同で開催する「プリント4」東京セミナーの告知と充実したこれからの活動報告があり、懇親会はお開きへ。福岡印刷若葉会全員とステージへあがり、本日のお礼をさせていただきました。

このときばかりは、今までの緊張から解放され、熱いものが胸にこみ上げてきました。

参加していただいた皆様、ありがとうございました。

ご満足いただけたセミナーだったかわかりませんが、「福岡まで来た甲斐があったよ」と数名の方からいただいたことが何よりうれしかったです。

また、皆さんと次回の京都総会、金沢大会でお会いできると思います。そのときにまた「福岡セミナー」の忌憚のないご感想をお聞かせください。

福岡セミナーのお礼



福岡印刷若葉会
会長 京谷 秀則

先日の福岡セミナーにおきましては、ご多用中にもかかわらず、全国から多くの緑友会会員の皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。改めて御礼申し上げます。

今回の福岡セミナーは、「響（ひびき）～移り行く時代の胎動～」というテーマのもと、前田実行委員長をはじめとするメンバー一同、それぞれが手探りの中で検討に検討を重ね、本番直前まで不安や心配を山ほど抱えての準備を続けてきました。

当日は、プロ和太鼓集団『TAO』のライブに始まり、福岡ダイエーホークス社長・高塚 猛氏の基調講演会、緑友会サーバ・ディスカッションとあわただしいプログラムで、進行中は何かと不備な点、行き届かない点が多々あったかと思います。この場をお借りしてお詫び申し上げる次第です。

私ども福岡印刷若葉会でもセミナー終了後に反省会を行い、何度も当日のVTRを見直しました。反省点を数え上げればキリがありませんが、懇親会会場での皆様の明るい、疲れを感じさせない笑顔を見えるにつけ、「やって良かった」との思いでいっぱいです。また、今回のセミナー実施を通して若葉会会員どうしの連帯も強まり、何より全国の緑友の会員様と一体になれたことに大変感激いたしております。

私どもとしては、なんとか200名以上の方々においでいただくことをひとつの目標として取り組んでまいりましたが、当日は250名以上の方々にお集まりいただき、おかげさまで大規模なセミナーとなりました。誠に手前味噌ではありますが、今回のセミナーは成功だったと言えるのではないかと自負しております。

ますます環境が厳しくなる昨今ですが、不況にめげることなく、さらなる業界発展のために益々精進してまいりましょう。

業界各社様の今後のご発展と、皆様方のご健康をお祈り申し上げまして、御礼のごあいさついたします。

最後になりますが、ご参加、ご来場いただきました皆様、またご協力、ご支援いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。

・ Report&Photo ・

第36回全国印刷緑友会福岡セミナー

福岡セミナーに参加して

京都青年印刷人月曜会 四方 裕



どうも皆さんはじめまして。京都印刷人月曜会の四方と申します。皆さん私の事はほとんどご存じないと思いますが、実は私あの瀧本率いるやまとカーボン社の社員なのであります。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。さて前置きはともかく、先日福岡セミナーに参加させていただきまいたので報告させていただきます。

2月22日本降りの雨の中、月曜会メンバーと共にシーホークに到着！素晴らしい施設にまずは感激。プログラムのはじまりはT A Oのライブでした。セミナーのメインタイトル「響（ひびき）」にふさわしい強烈なインパクトの響きにまずは圧倒されました。特に、石橋稜似のおにいさんがバットでたたく（殴る？）巨大な太鼓の音は圧巻でした。

そして次に高塚 猛氏のセミナー。“再建請負人”のお話にかなり気合いを入れて聴くつもりでしたが・・・前半はお恥ずかしい事にちょっと寝そうな……。しかし後半はさすがに素晴らしい話でお目めもパッチリ！！最後には氏のサイン入りの著書まで購入させていただきました

第	36	回		
全	国	印	刷	
緑	友	会		
福	岡	セ	ミ	ナ
				ー

Report&Photo

た。やはりどんな時代の中でも“自分と未来は変えられる”んですよね。これからは、時代やまわりの環境をぼやくのではなく、自分で未来を変えていく努力が必要なのですよ。みなさん……。

次に緑友サーバーのお話。私もその存在は知っていましたが、1・2度しか見たことがありませんでした。申し訳ありません……。これからは会員がコミュニケーションの場として利用できるようなコンテンツを考え、活発に運用できるようみんなで緑友サーバーを盛り上げていきましょう。

素晴らしいセミナーの後は、いよいよお楽しみの懇親会。緑友会次期会長候補の森田氏のちょっと滑った（ごめんなさい！）挨拶のあと、みなさん和やかムード。そしてそこに花を添えたのが、そうあのイリュージョンでした。素晴らしいイリュージョンが繰り返される中、皆の視線は一点に……。オイオイ！皆どこを見とんねん！！私も、視線の先は皆さんと同じでした……。ほんと、ヨカッタ～！

こうして大盛況のなか福岡セミナーは



閉幕しました。福岡若葉会の皆さん本当にお疲れさまでした。このあと参加者が中洲の街にくりだして行ったことは言うまでもありません・・・

さて、次回はいよいよ5月の京都総会です。今回のテーマは“バイタリティー”。月曜会メンバーのバイタリティーを余すことなく発揮して、今の時代を充実して生きていくバイタリティーについて考えます。皆さん、中洲の夜に負けない京都の熱い総会でお会いしましょう。

来ないと、うちの社長が追いかけて来ますで～！！



第	36	回			
全	国	印	刷		
緑	友	会			
福	岡	セ	ミ	ナ	ー

Report&Photo







■平成 14 年度第 2 回常任幹事会

日時：平成 14 年 11 月 16 日（土）

会場：沖縄 ホテルサンパレス（那覇市）2F

開会

会長代行挨拶 福田代行

資料確認 田中総務

議長選出 田中総務

議題

1. 名古屋大会決算報告 棚橋実行委員長

予算にたいして、赤字決算となった原因は、日程変更により開催会場が分散し経費がかかった。250 名動員目標にたいして、133 名しか動員できなかった。上記の意見に関して、企画内容の問題があるのでは？（2 日間に渡る開催）常任幹事会として、他団体のイベント開催日程が把握できていない。最終意見として、常任幹事会の責任として、赤字に対して補填する。今後の課題として、常任幹事会で提示されたイベント企画内容を吟味していく

2. 福岡セミナー進捗状況 永野君

セミナー登録料が高額では？ 動員目標が多いのでは？（結果大丈夫なのか）

協賛費用 70 万円を予定している

セミナーでの集合写真が 30 万かかるが、方法論は？デジカメで撮影し、緑友会サーバに UP させ、必要なメンバーが各自プリント出力してはどうか？（費用は 0）

3. 京都総会進捗状況 為国実行委員長

総会参加しない一般会員のための市内観光ツアーはオプション扱いにする上記のかかる費用を削減し、登録料をさげる

4. 金沢大会進捗状況

受付時間が早すぎる。

結果として、遅刻もしくは前泊しなければならないのでは？

交通アクセスを考えると、かなりの高額な費用がかかる。もう少し、登録費用を安価にする方法を検討願う

5. 平成 15 年度セミナー以降の主管 G 立候補 井上渉外担当、福田代行

全国青年印刷人協議会、スペース 21、青年会議所印刷部会、全国印刷緑友会の 4 部会合同セミナーを企画中、東京にての主管を依頼、検討中

大会は、沖縄が先の幹事会で承認されている。

6. 各グループの活動状況報告 田中総務

7. 記念誌編集の進捗状況報告

8. 会費納入状況

9. その他

10. 会長代行挨拶

11. 閉会

■平成 14 年度 第 3 回グループ長・常任幹事会

日時：平成 14 年 2 月 22 日（土）

会場：シーホーク 3F 会議室

開会

議長選出 田中総務

会長挨拶 福田会長代行

資料確認

矢谷会長葬儀に関して 福田会長代行
会長活動費の辞退、直前会長職の人選について
本人より申請有り、常任幹事会に一任で了承、
内容は会長活動費 10 万円、功労金 10 万円の
計 20 万円を喪主（長男）に渡すことで承認さ

れる

1、京都総会開催の件 為国実行委員長

総会補助費用45万円を35万円に減額し、
残金10万円に関しては大会・セミナーの運営
補助費にまわす（京都より提案）

補助費の減額に関して、次回開催地に関する
プレッシャーにはならないか？

次年度より総会補助を減額する予定である。

よって、京都総会より実行。

アトラクションの内容が不明確

総会決算で余れば減額してはどうか？

各補助金の金額設定が妥当かどうか？

本来、総会の補助金はグループ長の交通費等に
使用されるべきもの。

補助金を減額するより、登録費用に反映させる
べきではないか？

2、金沢大会開催の件 永野実行委員長

登録人数210名（緑友会160名+金沢）青
年印刷人クラブ50名）

参加・体験できる大会を開催

内容として、伝統工芸が有名なので（金箔・和
菓子製作・友禅等）、各コースを少人数で体験
学習する。懇親会費用が高額なので非常に楽し
める内容なのか？料理内容のグレードを上げる

3、次期セミナー開催の件 福田会長代行

J C印刷部会・ジャグラ・スペース21・全青
協・緑友の4部会で合同セミナーを共催する。

4、40周年記念誌の件 小倉・福田

緑友基金の取り崩し決済権は常任幹事会である
道程2の製作費用の内200万円（概算）は本
の販売売上より（@1万円/冊）返済する

平均すると各グループ8冊程になるが、可能な
のか？

販売実績を各グループより算出してから印刷に

かかるべし、3月一杯までに、販売実数を各グ
ループより連絡をもらう

申込書は京都総会の案内と一緒に送付する

5、16年度総会主管立候補の件

秋田で開催はどうか？

時間をかけて、説得するらしい

6、16年度沖縄立候補承認の件

満場一致で承認される

7、その他

H・Gの印刷費用を撤廃し、緑友サーバーにア
ップするよって、年間120万円削減する

全青協 登坂議長より挨拶

J C印刷部会 宮崎君より挨拶

J C印刷部会副部長 松本君より挨拶

ジャグラススペース21 早坂君より挨拶

広島印刷研究会が30周年を開催するため、日
程を調整する（10月25日に開催予定）

九州・山口印刷青年会を開催予定

活動費用を再構築する（森田次期会長に一任）

常任幹事全員を総会前に招集し議会ははかる

次期常任は使命済みだが、ブロック常任の一部
が未決定であるので次回常任幹事会までに決定

する。総会でのアトラクションは不要ではない
か？もう少し、総会の内容から言って懇談が可
能な総会にしてほしい。今回のグループ長・常

任幹事会が全員集合のラストですので次期会長
に意見・想いを伝えて欲しい。

その内容を次年度のビジョン作成に生かす。

審議事項の確認 田中総務

直前会長挨拶 松浦直前会長代行

閉会

・A Relay Essay・

緑友会

札幌青年印刷人の会
藤田 靖



今までに数々の緑友の思い出がありますが、中でも1番は初めて参加した5年前の徳島総会でした。若い経営者が集うエネルギッシュなイメージを予想しましたが、現実には、総会が承認されないなどショッキングな内容でした。あれから月日も経過し、私も緑友の会計に任命され、この厳しい時代の予算を執行しました。途中、矢谷会長の会長辞退、そして亡くなられたことは忘れられない出来事でした。この2年間いろいろなことがありましたが、矢谷会長への追悼も含めて少し書きたいと思います。

矢谷さんは、常々全国から集まる常任幹事にたずさわる時間と多大な費用の負担を心配しており、インターネットを活用して、ネットで会議を行えないだろうか？と何度も申してしておりました。折から、緑友サーバーのあり方が検討されておりましたから、これを契機として緑友サーバーが250万円の費用をかけ、本格的に構築された訳です。ですから故人の意志を継承し、サーバーを活用、活性化することが何よりの供養になると信じております。また、もう一つの大きな取り組みに、課題であった緑友40周年記念誌の発刊があります。永年の多くの諸先輩や全国の各グループ、及び松浦さんや小倉さんのご苦勞で発刊までようやく秒読みとなりました。PDFでは既にサーバーにアップされておりましたが、これも矢谷前会長の強い意志でした。紙媒体としての印刷物は、夏までずれ込みますが、旧役員で協力して発刊までこぎつけたと考えております。

最後に、個人的には緑友で学んだことがたくさんあり、自社の経営の参考にしております。中でも東京で開催されたプロジェクトXのセミナーで今井彰プロデューサーは、企業とは「ものを作る」のではなく、「市場を作る」ことが必要だと言っておりました。是非とも印刷業界は緑友から作られる、となることを期待して終わらせて頂きます。

編集後記

2年間で6回発行の予定でしたが、今回は紙媒体への印刷は無しになりました。我々印刷業界でも紙媒体への印刷離れとなると先が思いやられます。PDF配信でも編集は同じ手間です。それが印刷業界の強みと認識すれば、まだまだやれますよね。

FG編集委員会



◆第46回全国印刷緑友会 京都総会

開催日：2003年5月17日（土）
会 場：ばるるプラザ京都
登録料：15,000円
主 管：京都青年印刷人月曜会



◆第46回全国印刷緑友会 金沢大会

開催日：2003年9月13日（土）・14日（日）
会 場：金沢エクセルホテル東急
登録料：28,000円
主 管：金沢青年印刷人クラブ

◆第37回全国印刷緑友会 東京合同セミナー

開催日：2003年2月21日（土）
会 場：品川プリンスホテル
登録料：未定
主 管：常任幹事